

- ▶ 高性能林業機械を導入することにより、作業時間の短縮、労働力の省力化が図られた。また、限られた人員での効率的な森林施業を実現し、地域の森林資源の有効活用が図られた。

□ 事業内容

林業機械導入に要する経費を支援

- ・ 林業事業体に対し、木材の伐採、枝払い、玉切り、集積の効率化の推進に必要な林業機械の導入に要する経費の支援

○令和7年度

【事業費】 2,600千円（全額譲与税 補助対象経費の10%）

【実績】 1団体

・ハーベスタ 1台

□ 取組の背景

- ・ 団体所有の既存の機械（プロセッサ）では伐採ができず、チェーンソーで平行して作業をしていた。木材の伐倒、枝払い、玉切り、集材等の作業に多くの時間と労力を要し、生産性の向上や安定した木材供給が難しい状況となっていた。



□ 工夫・留意した点

- ・ 大径材に対応可能な機械を導入し、造材と主伐の効率化を図った。
- ・ ハーベスタをフル稼働させるためのオペレータが必要であるため、資格取得研修費の助成を実施した。

□ 取組の効果

- ・ ハーベスタの導入支援を行うことで、作業時間の短縮、労働力の省力化が図られた。また、低コストでの森林整備を推進し、木材生産の増産が図られた。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：61,317千円		②私有林人工林面積（※1）：8,175ha	
③林野率（※1）：81.2%	④人口（※2）：40,765人	⑤林業就業者数（※2）：35人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 糸魚川市では住宅・店舗などに地元産木材を使用する地産地消の取り組みを推進した。
- 小中学校に地元産杉を使用した実習用木製椅子を設置し、地元産材に触れ合う機会を提供することにより、森林や林業について関心を深める取組を実施した。

□ 事業内容

- ・市内小中学校で使用する実習用木製椅子を糸魚川産杉で作製する。
- ・市内小中学校の希望校に行き渡るように令和５年度から令和７年度まで実施。

○令和７年度

【事業費】 5,985千円（全額譲与税充当）

【実績】 279脚

- ・豊富な森林資源を活用し、市では公共施設や学校に地元産材を積極的に取り入れている。



□ 工夫・留意した点

- ・「糸魚川産の木材を使っています」といった焼印プレートを活用し、PRを行う。

□ 取組の効果

- ・地元産木材を地元の業者で加工することにより、地域経済の活性化や地産地消の取組が図られる。
- ・児童・生徒が地元産材に触れ合うことで、森林や林業への関心を高め、地元への愛着形成が図られる。

◇ 基礎データ

①令和７年度譲与額：61,317千円		②私有林人工林面積（※１）：8,175ha	
③林野率（※１）：81.2%	④人口（※２）：40,765人	⑤林業就業者数（※２）：35人	

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より